

# 事業評価票

39	<b>子供の健康相談室</b> (福祉保健局少子社会対策部/一般会計)	事業開始	昭和 62 年度
		事業終了予定	平成 - 年度

## 【局評価】

<b>1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか</b>	
○ 昭和62年10月、母と子の健康に関する都民の不安や悩みに対して、保健師や助産師が専門的な立場から必要な助言や相談を行うことを目的として、平日夜間の時間帯に電話相談を開始した。  ○ 平成16年度、国事業（小児救急電話相談事業（#8000））の開始に伴い、相談時間を休日昼間にも拡充し、小児救急の前段階の相談に対応するため、医師による支援体制を整備した。	
<b>根拠法令等</b>	電話相談「母と子の健康相談室」（小児救急相談）事業実施要綱

<b>2 どのように取り組み、どのような成果があったか</b>																					
○ 平日夜間（17時～22時）は4回線、休日（9時～17時）は2～3回線を確保し、保健師や助産師相談を受け付け、必要な場合は小児科医師が対応している。  ○ 相談件数は年間約3万件であり、うち約9割が小児救急に関する内容となっている。  ○ 相談実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">(単位：件)</td> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>28,824</td> <td>29,948</td> <td>31,836</td> </tr> <tr> <td>うち小児救急相談</td> <td>24,375</td> <td>25,877</td> <td>27,997</td> </tr> <tr> <td>相談件数に占める割合</td> <td>84.6%</td> <td>86.4%</td> <td>87.9%</td> </tr> </table> ※相談件数は複数人に関する相談の場合は複数カウントしている。		(単位：件)				区 分	24年度	25年度	26年度	相談件数	28,824	29,948	31,836	うち小児救急相談	24,375	25,877	27,997	相談件数に占める割合	84.6%	86.4%	87.9%
(単位：件)																					
区 分	24年度	25年度	26年度																		
相談件数	28,824	29,948	31,836																		
うち小児救急相談	24,375	25,877	27,997																		
相談件数に占める割合	84.6%	86.4%	87.9%																		

<b>3 どのような課題や問題点があったか</b>
○ 相談件数は約3万件であるが、時間外の着信件数もほぼ同件数あり、話中の着信もあることから、相談ニーズに応えきれていない。  ○ 相談の9割は小児救急に関する相談であるが、相談員は保健師が中心である。

<b>4 局として、事業をどうしていきたいか</b>					
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
○ 混雑（話中）件数や時間外件数に適切に対応できるよう相談体制の見直しを図る。  ○ 見直し後は、回線数を平日・夜間ともに5回線とし、相談時間を休日夜間まで拡充するとともに、小児の医療や保健に関する実務経験のある相談員による相談体制を整備する。					
<b>歳入</b>	26年度決算額	17,194 千円	<b>歳出</b>	26年度決算額	32,258 千円
	27年度予算額	17,093 千円		27年度予算額	35,296 千円
	28年度見積額	17,215 千円		28年度見積額	90,229 千円

## 【財務局評価】

<b>5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</b>
○ 小児の健康に関する不安や悩みを解消するため、事業を実施しているところであるが、相談内容は小児救急に関する相談が大半を占めており、適切な相談を行うためには相談体制について見直す必要がある。  ○ 現行の回線数、受付時間に対して通話中や時間外件数が多いため、ニーズを踏まえた相談受付体制の見直しを図る必要がある。

<b>6 28年度予算で、どのように対応したか</b>			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
○ 実態を踏まえ、回線数、相談時間を拡充する。  ○ 実績や他県の状況を踏まえ、ニーズを分析した上で適切な回線数、受付時間を設定し、受付体制についても見直しを図っていることから見積額のとおり計上する。			
<b>歳入</b>	28年度予算額	17,215 千円	
<b>歳出</b>	28年度予算額	90,229 千円	